

医療救護活動訓練の実施について

(平成30年度東京都・小笠原村合同総合防災訓練)

1 訓練全体の概要

(1) 目的

地震に伴う津波襲来における総合的な避難訓練を行い、小笠原村及び防災関係機関並びに住民がとるべき行動を実践し、防災対策の習熟と防災関係機関の相互協力体制の確立を図ることを目的とする。

(2) 実施日

平成30年11月8日(木曜日)から10日(土曜日)まで

(3) 参加機関

東京都、小笠原村、警視庁、東京消防庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、海上保安庁、ライフライン機関、地元消防団、住民等

(4) 参加規模

320名程度

2 医療救護活動訓練の概要

(1) 想定

平成30年11月9日南海トラフ地震が発生し、小笠原村においては震度1の地震が観測され、最大規模の津波襲来に備え、大津波警報が発令された。その直後に小笠原諸島近海を震源とする震度6弱の地震が発生し、家屋倒壊等により多数の傷病者が発生した。

(2) 参加機関

ア 父島

小笠原村立小笠原村診療所、小笠原村医療課、島しょ保健所小笠原出張所、都立小笠原高校
日本赤十字社東京都支部、東京都病院経営本部(広尾病院)、東京都福祉保健局

イ 母島

小笠原村立母島診療所、小笠原村母島支所、消防団、島民ボランティア、東京都福祉保健局

(3) 訓練項目

ア 父島

項目	内容
1 トリアージ訓練	搬送されてきた負傷者に対するトリアージを実施
2 担架搬送訓練	高校生により編成された担架班がトリアージエリアから重症・中等症エリアへ負傷者を搬送
3 医療処置訓練	トリアージされた負傷者に対して、医療処置の実施
4 患者搬送訓練	ヘリ搬送が必要な重症患者をヘリ離着陸地点へ救急車にて搬送(救急車への乗車までの実施)
5 情報連絡訓練	保健所、診療所、都(及びコーディネーター)による応援・搬送調整の模擬通信の実施

イ 母島

項目	内容
1 トリアージ訓練	搬送されてきた負傷者に対するトリアージを実施
2 担架搬送訓練	消防団により編成された担架班がトリアージエリアから重症・中等症エリアへ負傷者を搬送
3 医療処置訓練	トリアージされた負傷者に対して、医療処置の実施
4 患者搬送訓練	ヘリ搬送が必要な重症患者をヘリ離着陸地点へ救急車にて搬送(救急車への乗車までの実施)
5 情報連絡訓練	保健所、診療所、都(及びコーディネーター)による搬送調整の模擬通信の実施